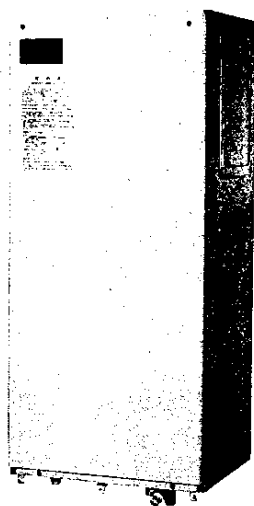


ガス給湯暖房機 シンプルシステム エックスMARKII

44-740・741型

型式AD-207FFA
AD-207FFA-D



取扱説明書 (保証書付)

もくじ

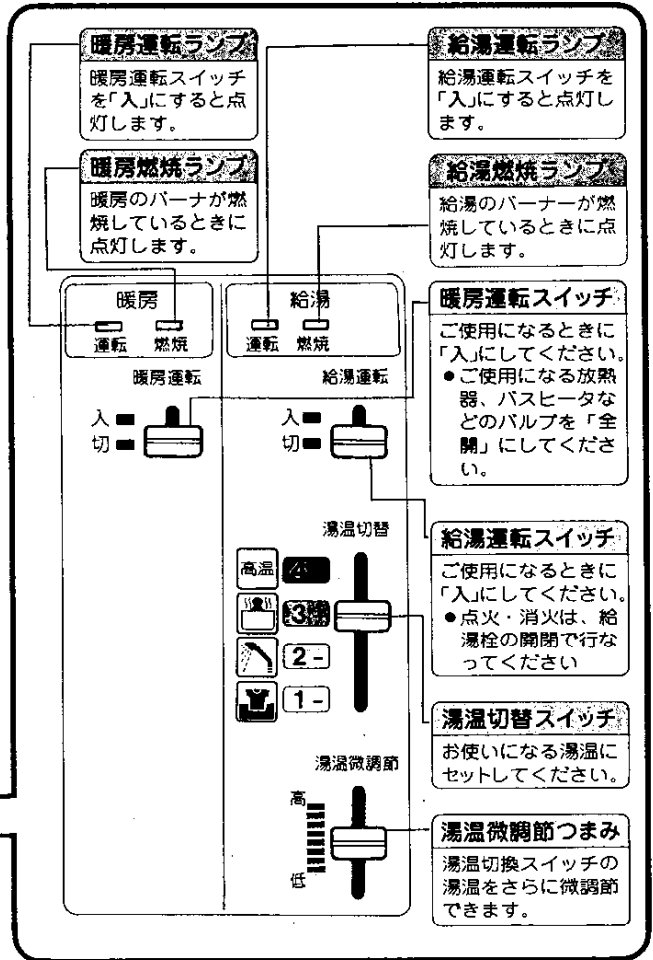
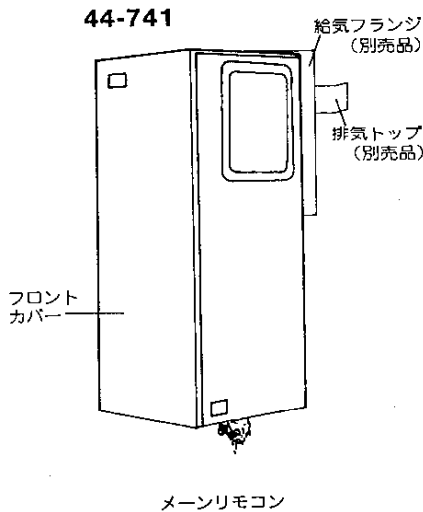
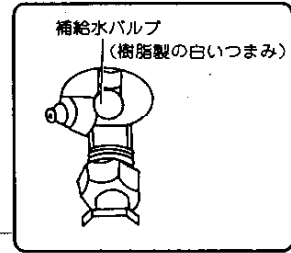
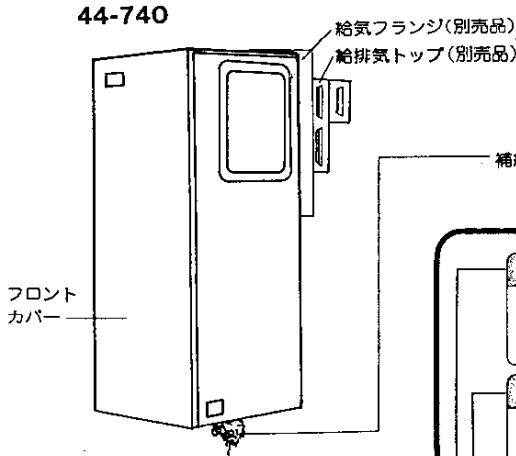
- 各部の名称……………1
- 特に注意していただきたいこと……………2
- 器具の使用方法……………4
- 冬期の凍結による破損予防について…8
- 器具の上手な使い方……………9
- 安全装置が作動したときの処置方法…10
- 日常の点検・手入れ……………11
- 長期間使用しない場合……………11
- 故障・異常の見分け方と処置方法…12
- 仕様……………13
- 保管とアフターサービス……………14

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買い上げの販売店
にお問い合わせください。

 **大阪ガス**

各部の名称

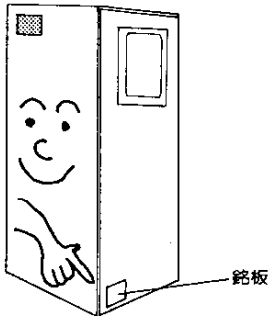
■外観



特に注意していただきたいこと

■使用ガスについてのご注意

器具(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。表示のガス種類とお宅のガスが一致していることをお確かめください。



■使用電源についてのご注意

器具(銘板)に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。

例 44-741 : 6Cの場合

[注]この部分をご確認ください。

ガス総量消費額	
型式	AD-207FFA-D
種別	標準
都市ガス用	ガス消費額 kcal/h
	(6C)
最大	24500
標準	8500
電源	AC100V 60Hz
消費電力	120W
製造番号	89-3-00000
松下住設機器株式会社	
松下電器産業株式会社	
供給予熱ヒーター	135W
熱出力	7000 kcal/h
給湯出力	8.3 l/min
貯湯量	3 l
型式	AD-207FFA
特許証印	※JWWA
品名	瞬間湯沸器
型式登録番号	A-2868
製造年	0.2%

■用途についてのご注意

給湯(台所・シャワー・洗面など)および暖房(放熱器・床暖房など)・追だき(バスヒーターなど)の用途以外には使用しないでください。

■使用場所についてのご注意

壁、その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。

■使用上のご注意

(1) ガス漏れ予防

- 使用後は、燃焼ランプ(赤色)が消えたことをお確かめください。
- お出かけのときや、おやすみの際には、運転スイッチを切り、ガス元栓を閉めてください。

(2) 市販の補助用具使用についてのご注意

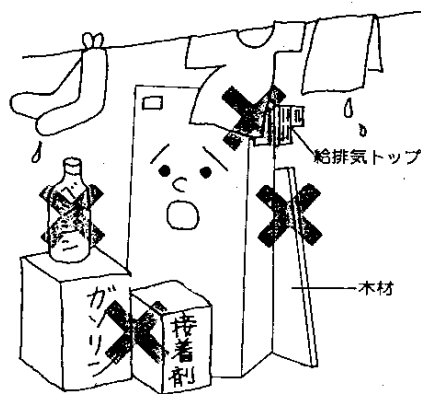
この器具用の付属品・補助用具以外は使用しないでください。

(不完全燃焼などの原因になります。)

(3) 火災予防

器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。

特に、給排気トップは洗たく物などでおおわないでください。



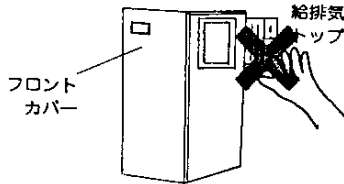
(4) 雷時の注意

激しい雷が接近したときは、使用を中止し電源プラグを抜くか器具用ブレーカを「切」にしてください。

特に注意していただきたいこと(つづき)

(5) 火傷にご注意

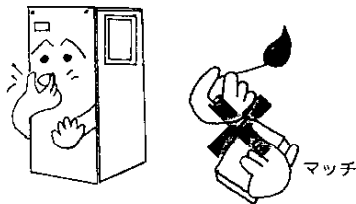
使用中および消火直後は、フロントカバーや、給排気トップが高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。



(6) ガス事故防止

ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉め、お求めの販売店かまたはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

〔注〕万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、近くの電気器具のスイッチの「入・切」をしないでください。



(7) 凍結についてのご注意

冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具内の水が凍って、器具を破損することがあります。詳しくは、8～9ページの「冬期の凍結による破損予防について」をお読みください。

(8) 異常時の処置

万一、異常燃焼(メインバーナ着火時や使用中に“ゴー”と音のするような燃焼)をおこしたときや、緊急の場合には、下図の処置をし、お求めの販売店かまたはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

1. 給湯栓を閉める。



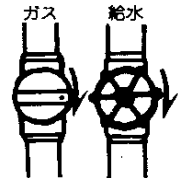
お湯の使用場所

2. 運転スイッチを「切」にする。



メインリモコン

3. 給水元栓・ガス元栓を閉める。



器具の下部

(9) 器内に長時間たまった水は、飲用または調理に用いしないでください。

(10) アース(接地)のご確認

ご使用前に、次のいずれかの方法で正しくアースされていることを必ずお確かめください。

- 分電盤内のアース端子へアース線が接続されているか。
- アース棒を使用しているか。
- コンセントのアース端子へアース線が接続されているか。

■日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは、必ず行なってください。(詳しくは11ページをお読みください。)
- 故障または破損したと思われる場合は、お求めの販売店かまたはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。不完全な修理は危険です。

■ポンプロック予防について

暖房シーズンオフ時に、給湯をお使いになると温水循環用ポンプが約30秒運転しますが、ポンプロック予防のためで異常ではありません。

器具の使用法

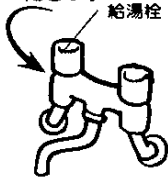
■点火前の準備と確認

1. 給水元栓を全開にしてください。



器具の下部

2. 給湯栓を開け、水の出ることを確認してから閉めてください。



お湯の使用場所

3. 器具底面の補給水バルブを開けて、補給水タンクに補給水を補給してください。補給が完了し、溢水口(オーバーフロー)から水が流れたら、補給水バルブを閉めてください。



補給水バルブ

器具の下部

4. ガス元栓を全開にしてください。



器具の下部

5. 器具用のブレーカを「入」にしてください。



屋内の分電盤

給湯の使い方

■点火

① 給湯運転スイッチを「入」にします

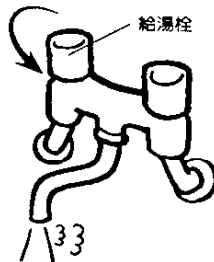
(給湯運転ランプ(緑色)が点灯します。)



② 給湯栓を開けます

メインバーナに点火し、お湯が出ます。

(点火と同時に、給湯燃焼ランプ(赤色)が点灯します。)



[注] 給湯燃焼ランプ(赤色)が点滅しているときは、お湯になりません。このような場合は、いったん給湯栓を閉め、しばらく待ってから給湯栓を開けてください。

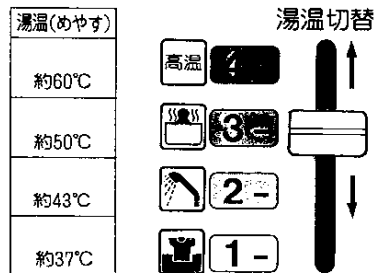
(給湯栓を開け、約7秒以内に点火しなかった場合は、自動的にガスをストップし、給湯燃焼ランプ(赤色)の点滅動作でお知らせします。)

■湯温調節

① 湯温切替

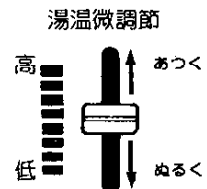
お使いになる湯温にセットしてください。(季節により多少変化することがあります。)

● 中間の位置にセットしても湯温は切り替わりません。



② 湯温微調節

● 湯温をさらに微調節されるときに操作してください。1目盛で約0.3~1°Cの温度差があります。



器具の使用法(つづき)

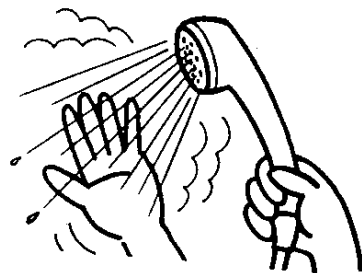
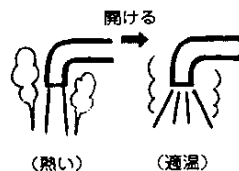
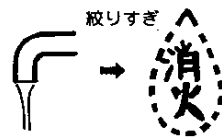
- 湯量を約3ℓ以下に絞りますと、メインバーナの火が消えるようになっています。

夏期には

- 水温が30℃近くになりますと、湯量が少ない場合には、湯温が熱くなります。このような場合には、湯量を多く出してお使いください。

〔注〕

- 給湯栓で湯量を調節しますと、水の中の空気が分離して、気泡となり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。
- シャワーをご使用のときは、手で湯温を確認してからお使いください。
- 2カ所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中は同時使用はやめてください。



■消火

① 給湯栓を閉めます

- お湯が止まり、メインバーナが消火し、給湯燃焼ランプ(赤色)が消えます。
- 次にお使いになるときは、給湯栓を開けるだけでメインバーナに着火してお湯が出てきます。

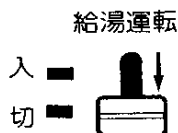


お出かけや、おやすみの際など

② 長時間使用しない場合

給湯運転スイッチを「切」にし、ガス元栓を閉めてください。
給湯運転ランプ(緑色)が消えます。

1. 給湯運転スイッチを「切」にする。



メインリモコン

2. ガス元栓を閉める。



器具の下部

暖房の使い方

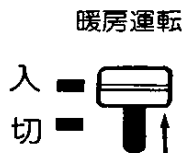
バルブを全開にします

暖房配管またはご使用になる放熱器、バスヒータなどのバルブを全開にしてください。放熱器に電動弁を使用している場合は、放熱器の切替スイッチを「ON」にすると自動的に「開」になります。

■点火

暖房運転スイッチを「入」にします

- 暖房運転スイッチを「入」にしてください。



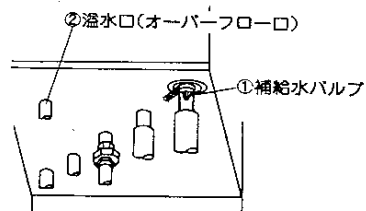
- 暖房運転ランプ(緑色)が点灯し、自動的にメインバーナに着火し、暖房燃焼ランプ(赤色)が点灯します。

[注]

- 暖房運転ランプ(緑色)と暖房燃焼ランプ(赤色)が点滅しているときは、暖房運転スイッチを「切」にし、補給水タンクに補給水を補給してください。補給水タンクの水は蒸発しますので約1カ月に1度くらい水を補給してください。

(暖房使用時間により異なります。)

(器具底面の補給水バルブ①を開け溢水口(オーバーフロー口)②から水が流れたら補給水バルブを閉めてください。)



- 暖房燃焼ランプ(赤色)が点滅しているときは燃焼していません。このような場合は、いったん暖房運転スイッチを「切」にし、しばらく待ってから暖房運転スイッチを「入」にしてください。

(暖房運転スイッチを「入」にして、約10秒以内に点火しなかった場合は、自動的にガスをストップし、暖房燃焼ランプ(赤色)の点滅動作でお知らせします。)

- 室温が高い場合には、暖房運転しても暖房燃焼ランプ(赤)、放熱器の運転ランプが点灯しない場合があります。

器具の使用法(つづき)

■消火

① 暖房運転スイッチを「切」にします

バーナが消火し、暖房燃焼ランプ(赤色)・暖房運転ランプ(緑色)が消えます。

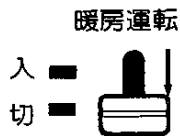


② 長時間使用しない場合

暖房運転スイッチを「切」にし、ガス元栓を開めてください。

暖房運転ランプ(緑色)が消えます。

1. 暖房運転スイッチを「切」にする。



2. ガス元栓を開める。



メーンリモコン

器具の下部

■給湯

停電時

運転は停止しますが水はそのまま出ますので、給湯栓を閉じてください。再通電時は、給湯運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いてください。

断水時

運転は停止しますが、再通水すると自動的に点火しますので、給湯栓は一旦、閉じてください。

ガスの供給が停止した時

運転は停止します。ガスの供給が再開されても自動的に運転はしません。一旦、給湯栓を閉じ、ガスの供給が再開された後、給湯栓を開いてください。

■暖房

停電時

運転は停止します。再通電すると自動的に運転を再開します。停電中は、念のために暖房運転スイッチを「切」にしてください。

断水時

そのまま暖房をご使用ください。

ガスの供給が停止した時

運転は停止します。ガスの供給が再開されても、自動的に運転の再開はしません。一旦暖房運転スイッチを「切」にして、ガスの供給が再開された後に、運転を再開してください。

冬期の凍結による破損予防について

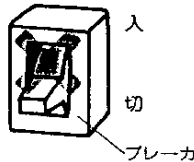


- 凍結すると器具や給湯配管が破損して、水漏れをおこしたり、器具が異常(空だきなど)をおこす危険性があります。
- 凍結による修理は有料です。

給湯

① 凍結予防ヒータによる方法

- この器具には、外気温が0℃近くになるとサーモスタットの働きで自動的に器具内を保温する凍結予防ヒータを組み込んでいます。
- 凍結予防ヒータは分電盤のブレーカが「切」になっていると作動しません。絶対にブレーカを「切」にしないでください。

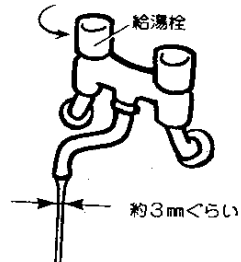


- 凍結予防ヒータは、運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。

〔注〕外気温が極端に低く（無風時で-10℃以下）なりますと、この凍結予防ヒータだけでは効果ありません。このような場合は、次の②または③の方法を行なってください。

② 給湯栓から水を流す方法

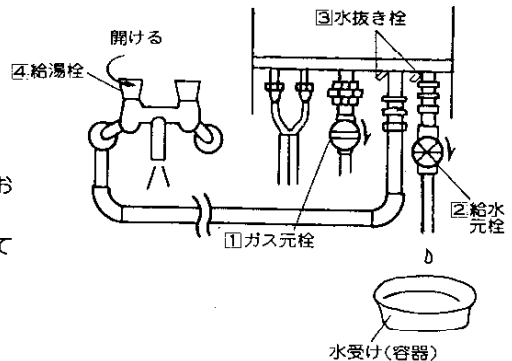
- ガス元栓を閉め、運転スイッチを「切」にして、お風呂場の給湯栓を開け、1分間に約200cc(牛乳びん1本ぐらい)の水を浴そうに流し込んでください。
- 流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をお確かめください。



③ 水抜きによる方法

次の順序で行なってください。

- (1)運転スイッチを「切」にし、ガス元栓①を閉める。
- (2)給水元栓②をしっかりと閉める。
- (3)水抜き栓③を開ける。(2本)
- (4)給湯栓④を全部開ける。
 - 給湯栓④と、水抜き栓③から水が抜けるのをお確かめください。
 - 次にお使いになるまで、このままにしておいてください。



<水抜き後の使用方法>

- (1)水抜き栓③を元通り、しっかりと閉める。(2本)
- (2)ガス元栓①を閉めた状態、および給湯運転スイッチを「切」にした状態で給水元栓②を開け、給湯栓④から水が出るのをお確かめののち、給湯栓④を閉めてからお使いください。
- (3)再使用するときは、4ページの「■点火」に従って操作してください。

冬期の凍結による破損予防について

■ご注意

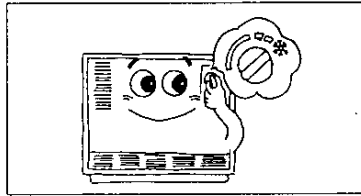
もし凍結して水が出ないときは、使用をやめ、(給湯運転スイッチを「切」にした状態で)、給湯栓を開け、水が出るまで待ってからお使いください。

■暖房

(1)暖房運転スイッチを「切」にしてください。

(2)各部屋のすべての放熱器の操作つまみを「※」にしてください。

(詳細については、放熱器の「取扱説明書」に従ってください。)



[注] 分電盤のブレーカは「切」にしないでください。気温が低いときは、自動的にポンプが回り凍結を予防します。

●暖房シーズン前にお求めの販売店かまたはもよりの大阪ガス支社に点検をお問い合わせください。

■凍結したとき

(1)凍結した場合、ガス元栓・給水元栓を開めてください。凍結したままお使いになりますと器具に異常が生じる場合があります。

(2)解凍したあと、水漏れがないのを確かめのうえご使用ください。

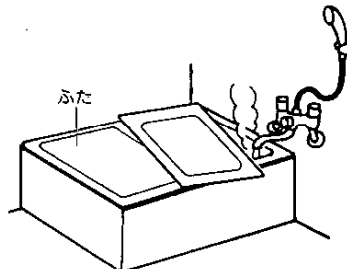
(3)器具や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

器具の上手な使い方

■ふろへの給湯は………

●入浴される湯温より、少し熱めで給湯し、浴そうにはふたをして、放熱ロスを防いでください。

●ご家族全員が続けて入浴される頃に浴そうに給湯すると経済的です。



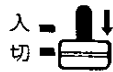
安全装置が作動したときの処置方法

■処置について

点火しなかったり、ご使用中にメインバーナが消火したときは、下記の方法および12ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。

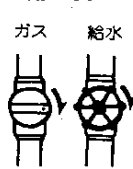
また、次の安全装置が働いた場合には、給湯運転スイッチ・暖房運転スイッチを「切」にし、ガス元栓・給水元栓を閉めてからお求めの販売店かまたはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

1. 運転スイッチを「切」にする。
給湯運転



メインリモコン

2. 給水元栓・ガス元栓を閉める。



器具の下部

3. お求めの販売店かまたはもよりの大阪ガス支社へ



連絡

■給湯バーナ安全装置

給湯のメインバーナの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まり、メインリモコンの給湯燃烧ランプ(赤色)の点滅でお知らせします。このような場合は、4ページの方法で再点火してください。

■暖房バーナ安全装置

暖房のメインバーナの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まり、暖房燃烧ランプ(赤色)の点滅でお知らせします。このような場合は、6ページの方法で再点火してください。

■空だき防止装置(暖房)

暖房回路の水が減りますと水位スイッチが作動して自動的に運転が止まり、暖房運転ランプ(緑色)と暖房燃烧ランプ(赤色)の点滅でお知らせします。このような場合は、6ページの方法で補給水タンクに補給水を補給してください。

■空だき安全装置(給湯・暖房)

万一、メインバーナの火が消えずに、湯温が異常温度上昇したときは、ガスを自動的にストップします。

■過熱防止装置

万一、器具が異常温度上昇したときは、ガスを自動的にストップします。

■電流ヒューズ

過電流が流れますと、自動的に運転を停止します。

■過圧逃し弁(給湯)

器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具内の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。

■停電時安全装置

使用中に停電になると停電用安全回路が作動し、ガスを自動的にストップし、運転が止まります。停電後の使用方法については7ページをお読みください。

■ファン電流検知装置

ファンモーターに電流が供給されていない場合にはファン電流検知装置により、ガスを自動的に停止します。

■凍結予防ヒータ(給湯)

給湯回路の凍結を予防するために、低温になると働きます。詳しくは、8ページをお読みください。

■水流スイッチ

給湯量を約3ℓ/分以下に絞りますと、自動的にガスが止まります。

■漏電安全装置

器具内の電気回路に異常がおこり、漏電などの危険が生じると、電気を自動的に停止します。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの前には、必ず給水元栓とガス元栓を閉め、メインリモコンの給湯運転スイッチ・暖房運転スイッチおよび分電盤のブレーカを「切」にして、器具が冷えてから行なってください。

■点検

- 器具および配管より水漏れ・ガス漏れはありませんか。
(ガス漏れは、配管接続部に石けん水などをつけて調べてください。)
- 運転中に、器具から異常音が聞こえませんか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。

■お手入れ

器具の表面が汚れたときは、布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふき取ってください。シンナー・ベンジンなどではふかないでください。



[注]メインリモコンの内部には電気部品が入っていますので、ぬらさないようにしてください。

■定期点検のおすすめ

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、定期点検をお求めの販売店がまたはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

長期間使用しない場合

必ずガス元栓・給水元栓を開め、メインリモコンの給湯運転スイッチ・暖房運転スイッチおよび分電盤のブレーカを「切」にして、下記の処置を行なってください。

給湯側

8ページの③水抜きによる方法を参照のうえ、水抜きを行なってください。

暖房側

お求めの販売店がまたはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。調査のうえ必要とあれば不凍液を入れさせていただきます。(有料)

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止され、十分な点検をしてください。

現 象		■故障・異常の見分け方と処置方法について(○=主原因、△=原因)										処 置 方 法		お 客 さま			
		寒い日に給排気トップから湯気が出る	給湯栓を開けても湯が出ない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	お湯を止めても燃焼ランプが消えない	運転スィッチを「入」にしても	運転ランプが点滅するか点灯しない	燃焼ランプが点滅するか点灯しない	暖房がきかない、またはききがおそい						
原 因																	
ブレーカが「入」になっていない		○								○			ブレーカを「入」にする	*			
ガス元栓の開き不十分		△	△	○	△					△	△		ガス元栓を全開にする	*			
配管内に空気が残っている		△	△							△			点火操作を繰り返す	*			
ガス圧が適切でない	低い	△	△	△	△					△	△		他の器具も同様の場合は点検を依頼する (他に原因がないとき)	*			
	高い		△												*		
給水元栓の開き不十分		○	△		△								給湯栓をいったん閉めてから給水元栓を全開にする	*			
水圧が適切でない	低い	○	△		△								点検を依頼する (他に原因がないとき)				*
	高い				△												
水ストレーナの詰まり		△	△		△								詰まり除去または依頼する	*	*		
断水している		○											給湯使用をいったん中止する	*			
凍結している		○											解凍するまで使用を中止する	*			
バーナ炎口の詰まり 空気吸込口の詰まり		△	△	△						△	△		点検を依頼する				*
熱交換器の目詰まり			△	△						△			点検を依頼する				*
給湯栓の開き不足		△	△		△								給湯栓を全開にする	*			
ノズルの詰まり		△								△	△		点検を依頼する (他に原因がないとき)				*
安全装置が作動した		○	○							○			点検を依頼する (度々作動する場合)				*
水流スィッチの故障		△	△	△	○	○							点検・修理・部品交換を依頼する (他に原因がないとき)				*
電気部品の故障		○	△	△		○	○	○	○				点検を依頼する				*
ポンプが回転しない										○			点検を依頼する				*
水ストレーナまたはポンプのごみ詰まり										○			点検を依頼する				*
補給水タンクの水不足										○			補給水タンクへ水を補給する	*			
燃焼用ファンが回転しない		○								○			点検を依頼する				*

仕 様

機 種 名	ガス給湯暖房機	
型 式 名	AD-207FFA	AD-207FFA-D
品 名	44-740	44-741
種 類	給湯方式	先止め式
	暖房方式	温水循環方式
	給排気方式	強制給排気式
設 置 方 式	屋 内 用	屋内用(共用給排気筒用)
点 火 方 式	電子イグナイタによる連続放電点火式	
着 火 方 式	給 湯	ダイレクト着火
	暖 房	ダイレクト着火
外 形 寸 法	本 体	高さ941mm×幅420mm×奥行366mm
	メーンリモコン	高さ255.5mm×幅156mm×奥行35mm
重 量	本 体	37.5kg(運転時41.5kg)
	メーンリモコン	0.2kg
水 圧	使 用 水 圧	1kg/cm ² 以上
	作 動 水 圧	0.2kg/cm ²
最低作動水量	給 湯	3ℓ/分
	暖 房	0ℓ/分以上(締切り使用可能)
ポ ンプ 機 外 揚 程	4.0mH ₂ O(5ℓ/分のとき)	
温度制御方式	給 湯	電子式比例制御方式
	暖 房	電子式Hi-Lo-OFF制御方式
温 度 調 節	給 湯	①約37℃ ②約43℃ ③約50℃ ④約60℃
	暖 房	比例域：80℃ Lo～OFF域：68～88℃
給 湯 量 制 御 方 式	最大約8ℓ/分の定流量弁方式	
排 気 フ ァ ン 制 御 方 式	給 湯	負荷によるHi-Lo制御
	暖 房	負荷によるHi-Lo-OFF制御
	同 時	Hi一定(強 回 転)
安 全 装 置	給湯バーナ安全装置・暖房バーナ安全装置・空だき防止装置 空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧逃し弁 停電時安全装置・ファン電流検知装置・凍結予防ヒータ 水流スイッチ・誘導雷保護装置・漏電安全装置	
消 費 電 力	最大 60Hz 120W	
	凍結予防装置作動時：135W	
接 続	ガ ス	R $\frac{1}{2}$ オネジ
	給 水 ・ 給 湯	R $\frac{1}{2}$ オネジ
	暖 房	G $\frac{3}{4}$ オネジ
	オーバーフロー	R $\frac{1}{2}$ オネジ
	電 気	本体電源AC100V 3心(うち1心アース用) メーンリモコン～本体 DC24V 8心
附 属 品	リモコン(一式)	
別 売 品	給気フランジ(49-774)・給排気トップ(49-773)・排気トップ(49-786～789)	

使用ガス 使用ガス グループ	型 式 名	1時間当たりのガス消費量(kcal/h)				標準出力(kcal/h)		
		全ガス 消費量	給湯ガス消費量		暖 房 ガス消費量	能力最大時		
			最 大	最 小		給 湯	暖 房	
都 ガ ス 市 用	6C	AD-207FFA	30,500	24,500	7,600	8,500	19,500(13号)	7,000
	13A	AD-207FFA-D	32,000	24,500	7,600	8,500	19,500(13号)	7,000

[注] ●給湯能力の()内は、水温+25℃上昇に換算した号数です。

保管とアフターサービス

サービスのお申し込み

- 12ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1)品名……………ガス給湯暖房機 エックス シンプルシステムMARK II

(2)品番……………前面左下部に貼付してあります。

(3)現象……………(できるだけ詳しく)

(4)道順……………(できるだけ詳しく)

(N)44-740(U)

大阪ガス株式会社

744 740 08

(AD-207FFA)

転居される場合

ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

この器具には保証書がついています

- このガス給湯暖房機は保証書に記載のように、熱源機の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間内であっても修理費をいただくことがありますので、この説明書とともに大切に保管してください。

大阪ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

南支社	☎557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪	06(652)0001
北支社	☎532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪	06(301)1251
堺支社	☎590	堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺	0722(38)1131
北摂支社	☎569	高槻市藤の里町39番6号	☎高槻	0726(71)0361
阪神支社	☎662	西宮市和上町4番11号	☎西宮	0798(26)3101
東部支社	☎578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内	0729(62)1131
京阪支社	☎573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方	0720(41)1251
神戸支社	☎650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸	078(576)5231
京都支社	☎604	京都市中京区烏丸御池梅屋町359	☎京都	075(231)8151
奈良支社	☎631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良	0742(44)1111
和歌山支社	☎640	和歌山市本町1丁目5	☎和歌山	0734(31)2481
姫路支社	☎670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路	0792(85)2221
東播支社	☎675	加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川	0794(21)1801
豊岡支社	☎668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡	07962(3)2221
湖南支社	☎525	草津市追分町字荒堀680の1	☎草津	0775(62)5311
彦根支社	☎522	彦根市大東町12-11	☎彦根	0749(22)3131
(長浜営業所)	☎526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜	0749(62)7171)
本社ガスビルサービスセンター	☎541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎大阪	06(202)2221

大阪ガス株式会社